

人が輝く 元気で住みよい いばらき

生活大県を目指して

医師確保対策、少子化対策、環境への取り組み、教育のあり方、科学技術の振興などについて、橋本知事が筑波大学長の山田信博さんと語り合います。

●「産業大県」から「生活大県」へ

知事 山田学長、新年明けましておめでとうございます。

学長 知事、おめでとうございます。

知事 筑波大学には、日ごろから産学官連携や医療、教育など各分野での連携事業にご協力いただき感謝しております。学長の今年の抱負はいかがですか。

学長 二十年、三十年前までと違い単純な右肩上がりの時代はもうリソースをつけて解決がつく時代ではないもので、今ある資源をいかに有効に使うか、そして優先順位をしっかりとつけていくことが大事だと思います。

もう一つ、大学の役割は、新しい右肩上がりやどうやってつくっていくかだと思います。未来の成長戦略をわれわれの知恵の中からぜひ皆さんに何か示すことだと思いますし、それにより、格差、少子化、貧困などの問題を解決できるいいなと思っています。筑波大学や茨城県が、日本や世界の中ではつきりとした存在を主張できるような立場であり続けたいと思っています。

知事 行政の世界でも右肩上がりの発想を持てるのが非常に大事だと思います。そういう点からすると、茨城県は、つくばや東海があり、産業も、日立地区や鹿島地区を有していますから、これらを生かし、最先端の科学技術立県、ものづくり産業などを成長させていくことで、日本のこれからの発展の一部を支えられる県にできないかというのが目標の一つです。

学長 われわれこの社会を支えているのは、

やはり一人ひとりの人間です。人間の原点は「考えること」なんです。考え抜くことにより、新しいものは絶対見つかるはずなので、それこそを茨城県がやらなければいけないのではないかと思います。

知事 私は、陸、海、空の交通ネットワークの整備や企業誘致など「産業大県、づくり」に重点を置いた県政を進めてきました。全国的に地域の活性化が叫ばれる中、本県は「元気な県」として注目されており、これまでの成果が上がりつつあります。今後は、福祉、医療、教育に力を入れた「生活大県、づくり」を本格化させていきたいと思っています。

また、依然として景気や雇用情勢は大変厳しく、今年も景気・雇用対策にしっかりと取り組んでまいります。さらに、三月には茨城空港が開港しますことから、発展に向けて飛躍の年にしたいと考えております。

●医師確保対策

知事 医療については、全国的に医師不足が深刻になっておりますが、医師として専門家のお立場から、学長は医療問題についてはどうお考えですか。

学長 医師は魅力のある職場環境を求めていますので、いかに茨城県で魅力のある医療環境をつくるか、それによって医師が集まってくるというのが一番前向きな方向だと思います。

知事 ただ、医師のトータル数が少ない。例えば欧米ですと人口十万人に対して三百十人、日本は二百二十四人、茨城県は百六十二人です。ヨーロッパと比較したら半分のたいぶ少ない状況です。

【新春対談】

茨城県知事
橋本昌

筑波大学長
山田信博

学長 医師の養成には時間がかかるので、県民の方々に現状をよく理解していただき、地域医療を自分たちで充実させていくというムードをつくっていくことが大事だと思います。

知事 県としても、診療科目別の偏在、あるいは地域別の偏在について、大学にご協力をいただく中で解決していかねばならないと思っています。

学長 そうですね、それには行政のサポートがないと難しい部分があります。若い医師が彼らにとって魅力ある、一生涯けることとの価値のある職場だということを感じるといことは大事だと思います。

医師の数を増やすことと、それから実際に住民の方たちのニーズに合ったような医師を育てるための勤務環境を整えていくこと、その両方を車の両輪のように回していただけると大変ありがたいです。

知事 医学部の学生数を増やすことについてはどうお考えですか。

学長 ベースの医師の数を増やさざるを得ないということとは当然あると思います。ただその効果



筑波大学附属病院での診察風景

が出てくるのは十年先になってしまいうもの
ですから、その十年間を何もしないとまた同
じことが起きてしまうんです。

知事 今後十年かかるとしたら、その間を
どうやって切り抜けていくかということが
問題でして、「こういう地域に勤務しなさい
い」とか、「こういう科目に従事しなさい」
といった、義務期間というものを設けられ
ないか、国に対して要請しているところです。
学長 そういうところは、多分医師の側と
社会の側で対話をしながら解決していかな
ければいけない問題だと思います。

知事 本県でも、医師確保支援センターの
設置や筑波大学をはじめとする県内外の医
科大学との連携強化、女性医師の就業支援
など、医師確保対策に取り組んでおります。

●少子化対策

知事 ところで、少子化が極めて深刻な問
題となっております。この問題については、
どのように考えていますか。

学長 子どもたちがのびのびと育てる環境
をつくり、安心してお子さんを育てられる
社会基盤をつくり、それを行政がお手伝い
できるということが大変いい社会になって
いくような気がします。

知事 この間の内閣府の調査では、結婚し
ても必ずしも子供を生む必要がないと考え
ている人が四十二・八パーセントであつた
のですが、そういった状況を改善してい
かないといけません。

県では出会いサポートセンターを作つて、
未婚化、晩婚化の対策をしています。何
とか早い時期に家族を持ちたいという発想
を持つてほしいと考えています。

学長 そうですね、子どものいる家庭の楽
しさを若いうちにはぐくんできていくような社
会環境が大事だと思うんですね。いい教育、
社会をつくろうと努力している、茨城県は
大いにチャンスのある県だと考えています。
知事 結婚はいいものだとか、子どもを持

つと家庭が楽しくなるとか、ポジティブキャ
ンペーンをするために小冊子を作つており
ます。そういうものを使いながら、結婚・
子育てキャンペーンというのをやってい
きます。ワーク・ライフ・バランスをうま
くとりながら、日ごろの家庭生活の実体験
からそういう目を育てていければいいと考
えています。

●環境への取り組み

知事 地球温暖化など環境問題は、われわ
れ人類の生存を脅かす極めて重要な問題で
すが、筑波大学としての取り組みについて
お聞かせください。

学長 例えば、農学では水をいかに農地に
確保するか、乾燥地域にはどういう植物が
適しているか、バイオ燃料などの研究成果
を基に環境問題に関しての拠点づくりとい
うのを、ぜひ県と大学が一緒になって手
挙げていければいいと思います。

知事 例えば、これまでの自動車と比べて
部品点数が少ない電気自動車が普及してき
ますと、製造過程や走行中における大量の
CO₂排出量の削減につながります。

学長 いか環境悪化をスマートにコント
ロールするかという技術は、多分日本とか
先進国が知恵を絞らなければいけないと思
います。

知事 県においては、レジ袋無料配布の中
止などのエコライフ運動、太陽光発電や省
エネ機器の
普及など、
いばらき型
グリーンニュー
 Dealとして県
策として県
民総ぐるみ
の温暖化対
策を実施し
ているとこ
ろです。



エコチェックシート

●教育のあり方

知事 これから茨城県は教育に力を入れて
いきたいと考えておりますが、筑波大学と
してはどのような人材育成に取り組んでい
ますか。

学長 子ども
たちは多
様な能力を
花開かせる
可能性があ
るのですが、
教育の実態
は受験勉強
であつたり、
閉塞感を感じ
ざるを得
ないという
ような状況になつてきているのだと思いま
す。大学としては、学生がやはりもつと自
分たちで考えて、そして新しいものをつく
り出していく、そういう積極性とかがもつ
とあると、これからの社会にとつての原動
力になつていくという感じがしますね。そ
こをどうやって大学が後から応援してい
くのが課題です。



少人数学級の様子

知事 教育については、近年、子どもたち
の学力低下が問題となつており、本県も例
外ではありません。茨城県では全国に先駆
けて、基本的な生活習慣や学習習慣を身に
付けさせるため、小学校一、二年生を対象
に三十五人以下の茨城県独自の少人数学級
などを実施してきましたし、来年度からは、
少人数学級を小学校三、四年生にまで拡大し、
基礎学力の確実な定着を図っていきます。

●科学技術の振興

知事 昨年の七月には、筑波大学やつくば
国際会議場を舞台に第二十回国際生物学オ
リンピックが、さらに八月には、全国物理

コンテスト「物理チャレンジ2009」が
行われるなど、科学技術への関心が高まっ
ているのはうれしい限りです。

学長 科学技術というのは、これからの日
本をつくる大変大きな原動力となるわけ
ですから、科学技術なくして日本の発展は
おそれないのだと思います。特に日本は資
源の少ない国なので、人が持つ知恵を資源
として科学技術に生かしていこうとするこ
とが、日本の発展に必要なと思います。

知事 つくばには大学や数多くの研究機関
があり、東海にも世界有数の研究者が集ま
っている。そういうことから本県は大きな役
割を果たしていると思うのです。

学長 知事がおっしゃるように、科学技術
の集積ということでは、国内トップクラス
だと思えます。さらに発展していくには、
その一つひとつがお互いに連携をしながら、
一プラス一が二以上の力を発揮できるよう
な環境整備が大事だと思います。

それから、茨城県の大きな特徴は、良き
伝統や歴史を持つているところだと思
うのです。それが全国から理解されるよう、
われわれも情報発信をしていきたいと思
っています。

知事 茨城県としては、本県の持つ歴史、
文化などを生かすとともに、東海一つくば一
東京といった世界最先端の科学技術連携軸
を強化し、最先端の科学技術拠点の形成に
努めることで、科学技術創造立国日本の中
で重要な役割を担っていきたいと思
います。

学長 ぜひ、知事に一層のリーダーシップ
を発揮していただきたいと思
います。

知事 今年の茨城県は、医療や福祉、教育、
文化などを充実させていきたいと思
います。そして、皆さんと力を合わせて住んで良か
つたと言われたいような「生活大県づくり」に
取り組んでいきたいと思
います。本日はど
うもありがとうございます。